

広島大学大学院博士課程リーダー育成プログラム  
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

平成29(2017)年10月入学

# 学 生 募 集 要 項

放射線災害医療コース推薦入試  
「放射線災害から生命を護る医師枠」

平成 28(2016)年 8 月



## 概 要

以下に挙げるアドミッション・ポリシーに合致し、放射線災害医療コースの目標に4年間の広島大学大学院博士課程リーダー育成プログラム「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」の履修によって到達すると見込まれる人、特に災害時において、診療・治療の資格を持って活躍できる人の入学を求め、放射線災害医療コース推薦入試「放射線災害から生命を護る医師枠」を実施します。

プログラムでは、国際機関におけるトレーニングやインターンシップなどの機会が提供され、修了後は、学際的な視点を持ち、かつマネジメント力を備えた放射線災害医療の専門家として、国際機関等で働くことが想定されています。

### ○大学院博士課程リーダー育成プログラムのアドミッション・ポリシー

広島大学では、人類が解決を迫られている複雑な課題に挑戦し、世界の平和で持続的な発展に貢献するため、大学院改革の一環として、複数の研究科を横断する分野融合型の博士課程を学位プログラムとして新たに開設しました。従来の学問分野、研究領域の枠組みを超えて、新たな知を創造できる人材を育成し、グローバルリーダーとして社会に輩出していきます。

### ○放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムのアドミッション・ポリシー

放射線による災害は全世界に影響を及ぼすグローバルな問題であり、それに対処し放射線災害復興を担うためには、学際力、国際力、マネジメント力を備えた人材が必要です。

本プログラムでは、医学、環境学、工学、理学、社会学、教育学、心理学などの基礎的知識を有し、放射線災害からの復興を、「放射線災害から生命を護る」、「放射能から環境を護る」、「放射能から社会と子どもを護る」観点から、横断的かつ統合的にマネジメントし、国際的に活躍できる分野横断・統合的グローバルリーダーの育成を目指しており、次のような学生を求めています。

- (1) 横断的知識と技術を身につけ、社会の発展に貢献したい人
- (2) 人の痛みがわかり、災害復興に貢献したいと強く願う人
- (3) リーダーとなって、地域・国際社会で活躍したい人
- (4) 意欲、行動力、責任力、人間力に優れた人

### ○放射線災害医療コースの目標 –放射線災害から生命を護る人材–

- ・ 原発作業員などへの急性放射線障害の病態把握と診断・治療ができる
- ・ 一般住民などへの低線量被ばくの影響評価ができる
- ・ 内部被ばく・外部被ばくの的確な線量評価ができる
- ・ 放射線高感受性である胎児・小児への適切な影響評価と診断・治療ができる
- ・ 放射線による発がんや遺伝的影響の機序とそのリスク評価ができる
- ・ 放射能汚染ストレス下における心理学的評価とメンタルケアができる

平成 29 年 10 月本学大学院博士課程リーダー育成プログラム「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」に推薦入学させる学生を次のとおり募集します。

## 1. 募集人員

放射線災害医療コース（4 年制） 若干名

※医歯薬保健学研究科博士課程医歯薬学専攻（霞キャンパス）に入学します。

## 2. 出願資格

次の各号の全てに該当する者

- (1) 日本国の医師免許又は歯科医師免許を有する者で所定の臨床研修を受けた者
- (2) 医師法(昭和 23 年法律 201 号)又は歯科医師法(昭和 23 年法律 202 号)の第 3 条及び第 4 条の規定に該当しない者
- (3) 出願時に職を有する者で、入学後も引き続き在職する場合は、所属長等の承諾が得られる者

## 3. 出願手続

志願者は、必ず出願前に、「8. プログラム担当者一覧表」及び本プログラムホームページを参照し、主任指導を希望するプログラム担当者と、自らが希望する活動がプログラムに適しているか及び希望研究内容等について相談し、主任指導の了承を得てください。

出願方法は、原則として「インターネット出願」としますが、持参又は郵送による提出もできますので、いずれかの方法により出願してください。

なお、出願書類等に不備のある場合は、受理しません。

- (1) 出願期間：平成 28(2016)年 10 月 13 日(木)から 11 月 4 日(金)午後 5 時まで(必着)

受付時間は、午前 8 時 30 分から午後 5 時までです。

なお、郵送による場合は必ず書留郵便で、封筒表面に「プログラム願書（推薦入試）在中」と朱書してください。

- (2) 出願登録方法及び入学検定料の支払は次のとおりです。

### ① 出願登録

インターネット出願システム (<http://hiroshima-u.jp/nyushi>) にアクセスし、出願に必要な情報を登録・確認してください。

### ② 入学検定料の支払（入学検定料：30,000 円）

インターネット出願システムによる個人情報入力後に、決済情報を入力する画面で以下の支払方法から一つを選択し、支払手続を行ってください。

i) クレジットカード (VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS)

ii) コンビニエンスストア (セブンイレブン, ローソン, ミニストップ, ファミリーマート, サークル K サンクス, デイリーヤマザキ, スリーエフ, セイコーマート)

iii) 金融機関 ATM 【Pay-easy】

iv) ネットバンキング

(注1)日本国外からは、クレジットカード決済のみ利用できます。

(注2)上記 i) から iv) までの支払手続を行えない場合は、事前にフェニックスリーダー育成プログラム事務室にお問い合わせください。

(3) 出願書類等

ア	入学志願票・(*受験票・写真票・入学検定料振込証明書貼付票)	所定の様式を使用してください。 (*インターネット出願の場合、記入は不要です。)
イ	医師又は歯科医師免許証の写し	
ウ	研究計画書	所定の様式を使用してください。
エ	推薦書	所定の様式を使用し、研修指導者、所属長等が作成の上、提出してください。
オ	小論文	所定の様式を使用し、用紙に記載されている小論文1及び2の課題について記述してください。
カ	受験承諾書	出願資格(3)に該当する場合のみ、提出してください。
キ	英語検定試験等の成績証明書等	入学試験日から原則2年以内に実施された英語検定試験等(TOEIC <sup>®</sup> 公開テスト、TOEIC <sup>®</sup> -IP(カレッジTOEIC <sup>®</sup> 含む)、TOEFL <sup>®</sup> -PBT、TOEFL <sup>®</sup> -iBT等)のスコア証明書等の英語能力を証明する書類を提出すること(複数提出可)。英語検定等を実施する公的機関が発行する書類であること。
ク	住民票の写し又は住民票記載事項証明書	外国人の志願者で日本に在住している者
ケ	入学検定料 30,000 円 *	インターネット出願システムによる志願者は、個人情報入力後に、決済情報を入力する画面で支払い方法を選択し、支払い手続きを行ってください。 持参又は郵送により出願する志願者には、広島大学入学検定料振込依頼書(入金票)【本学専用用紙】を郵送します。入学志願票貼付用、志願者保管用、入学検定料振込依頼書(入金票)の太ワクの中に、志願者氏名及び志願者住所を必ず記入して、指定の期日までに、都市銀行、地方銀行等の本支店の窓口で振り込んでください。(ATMからは振り込めないため、注意してください。)なお、振込手数料は振込人の負担となります。
コ	入学検定料振込証明書 *	ケの振込後、受付金融機関出納印のある(入学志願票貼付用)「入学検定料振込証明書」を、アの「入学検定料振込証明書貼付票」に貼付して提出してください。 *インターネット出願の場合、不要です。

所定の様式は、下記ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://hiroshima-u.jp/phoenixlp/admission>

#### (4) 出願書類等の提出

##### ① 書類等提出方法

提出は郵送又は持参に限ります。郵送は簡易書留郵便など、配達記録が残る方法によるものとし、出願期限までに必着とします。

なお、書類等の郵送は、必ずしもインターネットによる出願登録後である必要はありません。特に、郵送に時間がかかることが見込まれる、海外から出願される方は、出願登録を行うより前に予め書類を郵送しておくなど、郵便事情等を十分考慮して送付してください。

##### ② 出願書類等の提出先（「7. 照会及び出願書類等の提出先」参照）

#### (5) その他

① 受付後の記載内容の変更は、認めません。

② 出願書類及び検定料は、返還しません\*。

③ 出願書類等に記載された個人情報(氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等)は、入学選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は、学生支援関係(奨学金申請、授業料免除申請等)業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。但し、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、コンピュータ処理をするため、関連業務を外部の事業者へ委託することがあります。

#### \*入学検定料に係る注意事項

出願受付後はいかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。

ただし、次の(1)(2)の場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還しますので、「返還請求の理由」、「氏名」、「郵便番号」、「住所」、「連絡先電話番号」を明記した書面(様式は任意)に必ず「入学検定料振込証明書」添付の上、平成29年2月28日(火)までに下記送付先宛に郵送又はFAXしてください。

その後、本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので、記入・捺印の上、下記送付先に郵送してください。

(1) 出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合

(2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

送付先：〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号

広島大学経理グループ

(電話) 082-424-7811 (FAX) 082-424-6962

#### 4. 選抜の方法等

##### (1) 第1次選抜(書類審査)

志願者の出願書類に基づき、第1次選抜を行います。

この結果は、平成28(2016)年11月21日(月)までにメールにより通知します。

##### (2) 第2次選抜(面接試験)

期間：平成28(2016)年12月10日(土)

場所：広島大学 霞キャンパス (広島市)

第1次選抜(書類審査)に合格した者に、本学の指定する会場において、プログラム(学問分野、リーダーシップの素養、英語力等)に関する個別口頭試問及び出願時に提出された書類に基づいた個別口述試験を行います。

##### (3) 合否判定方法及び採点評価基準

###### ① 入学者選抜の合否判定方法

下記の採点評価基準に従い、書類審査及び口述試験等の結果を踏まえ、総合的に判定します。

###### ② 採点評価基準

書類審査及び口述試験、語学能力を考慮して総合的に選考します。なお、選抜試験は、志望の動機、志望分野への適性及び基礎学力を選考の評価基準とし、三段階評価を行います。

##### (4) 合格者の発表：平成29(2017)年1月31日(火)午前10時(予定)

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムホームページ

(<http://hiroshima-u.jp/phoenixlp>)に掲載し、合格者にはメール及び郵送により通知します。

なお、電話等による照会には、原則として応じません。

#### 5. 修学上の経済支援について

本プログラムに合格し、入学した者には、次の支援を実施します。

ただし、途中でこのプログラムを離籍する者は、その時点で支援を打ち切るものとします。

##### (1) 奨励金の支給(月額18~20万円予定)

(注1) 一定の収入がある場合(他の奨学金等を受給している学生及び社会人等)は、受給できないことがあります(国費留学生やその他の奨学金等を給付されている者は、どちらかを選択していただくこととなります)。なお、奨励金を受給しない者については、入学金及び授業料を徴収しません。

(注2) 奨励金を受給する者には本プログラムに対する専念義務があるため、原則的にアルバイト等はできません。

(注3) 支給額は、学業成績や履修状況等の評価により、学期毎に見直されます。

(注4) 本学の定めるところにより、支給を減額または停止することがあります。

(注5) 奨励金は所得として課税の対象となり、所得税・住民税の納付が求められます。その他、納税以外にも、国民健康保険や国民年金への加入が伴います。

(2)その他修学上必要となる経費について、本プログラムが定める範囲において支給します。

\*上記(1)(2)の経済支援は、平成28(2016)年7月1日現在のものであり、変更が生じる場合があります。

\*上記(1)(2)の経済支援は、平成30(2018)年3月末で終了します。(平成30(2018)年4月以降は未定)

## 6. 入学に要する経費

(1) 入学料 282,000 円

(2) 授業料(年額) 535,800 円

①奨励金を受給しない者は、入学料及び授業料は、徴収しません。

②既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

③上記記載の金額は平成28(2016)年4月現在のものです。入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定後の納付金を納入することになります。

## 7. 照会及び出願書類等の提出先 (出願等に際して不明な点があれば、下記へ照会してください)

広島大学フェニックスリーダー育成プログラム事務室

〒739-8524 東広島市鏡山1丁目1番1号 B809

Tel: 082-424-4689 E-mail: phoenix-program@office.hiroshima-u.ac.jp

メールでのお問い合わせの際には、件名に「**●● (あなたのお名前)** 出願について」と書いてお送りください。

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムホームページ (<http://hiroshima-u.jp/phoenixlp>)

## 8. プログラム担当者一覧表

志願者は、必ず出願前に、主任指導を希望するプログラム担当者と、自らが希望する活動がプログラムに適しているか及び希望研究内容等について相談し、主任指導の了承を得てください。

※「主任指導の可否」欄が「×」となっている担当者は、特任教員又は他大学・他機関等の所属であるため主任指導できない者を示しています。また、下記一覧表は平成28(2016)年8月1日現在のものであり、変更が生じる場合もあります。

	氏名	主任指導の可否	専門	所属, 担当研究科・専攻・職名
放射線災害医療コース	神谷 研二 プログラム責任者	×	放射線障害医学, 放射線生物学	医療政策室・特任教授
	小林 正夫 プログラムコーディネーター	○	小児科学	医歯薬保健学研究院・医歯薬学専攻・教授
	松浦 伸也 コースリーダー	○	遺伝医学, 放射線生物学	原爆放射線医科学研究所・ゲノム障害医学研究センター・教授、兼 医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	岡本 哲治	○	口腔外科学、口腔科学	医歯薬保健学研究院・医歯薬学専攻・教授
	稲葉 俊哉	○	血液学, 分子生物学	原爆放射線医科学研究所・ゲノム障害医学研究センター・教授、兼 医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	瀧原 義宏	○	血液学, 幹細胞生物学	原爆放射線医科学研究所・放射線災害医療研究センター・教授、兼 医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	保田 浩志	○	放射線防護, 線量評価	原爆放射線医科学研究所・線量測定評価研究分野・教授、兼 医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	東 幸仁	○	循環器内科	原爆放射線医科学研究所・ゲノム障害医学研究センター・教授、兼 医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	田代 聡	○	生化学, 分子生物学	原爆放射線医科学研究所・放射線障害機構研究部門・教授、兼 医歯薬保健学研究科・医歯薬学専攻・教授
	茶山 一彰	○	消化器病学, 肝臓病学	医歯薬保健学研究院・医歯薬学専攻・教授
	安井 弥	○	人体病理学	医歯薬保健学研究院・医歯薬学専攻・教授
	永田 靖	○	放射線腫瘍学	医歯薬保健学研究院・医歯薬学専攻・教授
	西尾 禎治	×	医学物理学	医歯薬保健学研究院・医歯薬学専攻・特任教授
	菅井 基行	○	細菌学	医歯薬保健学研究院・医歯薬学専攻・教授
	粟井 和夫	○	放射線科学	医歯薬保健学研究院・医歯薬学専攻・教授
	谷川 攻一	×	救急災害医療, 心肺蘇生法	福島県立医科大学・副学長
	田中 純子	○	衛生学, 公衆衛生学, 健康科学	医歯薬保健学研究院・医歯薬学専攻・教授
	宿南 知佐	○	分子生物学, 生化学	医歯薬保健学研究院・医歯薬学専攻・教授
	志馬 伸朗	○	救急集中治療医学	医歯薬保健学研究院・医歯薬学専攻・教授
	廣橋 伸之	○	救急医学	医歯薬保健学研究院・医歯薬学専攻・准教授
	Dion Clingwall	×	外国語としての英語教授法	医歯薬保健学研究院・特任准教授
	小笹 晃太郎	×	疫学	公益財団法人放射線影響研究所・広島疫学部長
	島田 義也	×	放射線発がん	国立研究開発法人放射線医学総合研究所・プログラムリーダー
	細井 義夫	×	放射線科学	東北大学大学院医学系研究科・医科学専攻・教授
	安村 誠司	×	公衆衛生学, 疫学	福島県立医科大学・医学部公衆衛生学講座・教授
	坂井 晃	×	血液・腫瘍学	福島県立医科大学・医学部放射線生命科学講座・教授
大津留 晶	×	放射線健康管理学	福島県立医科大学・医学部放射線健康管理学講座・教授	
高村 昇	×	国際保健学	長崎大学・医歯薬学総合研究科・放射線医療科学専攻・教授	